

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置安全監視チーム会合に係る面談
2. 日時：令和2年9月1日(火)13時30分～14時50分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与
検査グループ 核燃料施設等監視部門
福原監視指導官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他8名

5. 要旨

- 原子力機構から、資料に基づき次回のもんじゅ廃止措置安全監視チーム会合の資料案について説明があった。

- 原子力規制庁から、以下のとおりコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・燃料体処理の実績報告について、前回のキャンペーンにおいてどのような点を工夫し、それが当初計画以上の成果を出したこととどう結びついたのでか、また、その成果を今後のキャンペーンにどう生かしていくのか、という観点で資料をまとめ、より丁寧に説明すること。
- ・原子力規制庁としては、1次主冷却系循環ポンプ潤滑油系オイルリフタポンプのカップリング損傷について、昨年発生した1次ナトリウム純化系コールドトラップ循環ブロワの不具合と共通の要因として、原子力機構の調達管理の問題があると考えている。原子力機構においても調達管理に関する問題として取り扱い、検討しているのであれば、資料に追加すること。
- ・廃止措置全体の取り組み状況について、2年後に申請予定の第2段階以降の廃止措置計画においてどのような課題があり、いつまでに検討をする予定なのかが本日の資料では分からないことから、記載内容を検討すること。

○原子力機構から、以下のとおり返答があった。

- ・原子力規制庁のコメントの趣旨は理解した。
- ・コメントの会合資料への反映については、原子力機構において判断することとしたい。

6. 配付資料

資料1：もんじゅ廃止措置の進捗状況について(案) (9/8もんじゅ廃止措置安全監視チーム会合資料)

資料2：熱蛍光線量計の生産終了に伴う代替品への更新について